

- 1区…112世帯・456人
- 2区…58世帯・260人
- 3区…107世帯・419人
- 4区…69世帯・271人
- 5区…43世帯・193人
- 6区…100世帯・407人
- 7区…65世帯・277人
- 8区…87世帯・336人
- 9区…52世帯・188人
- 10区…32世帯・108人
- 11区…108世帯・372人
- 12区…222世帯・717人
- 合計…1,055世帯・4,004人

# 和納

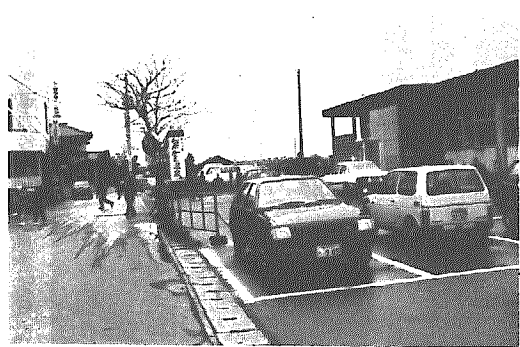
国鉄越後線、国道一六号が走る交通の要所で、本村の玄関口です。一昨年まで役場の所在地で岩室の中心街的な地区です。同地区は歴史も古く、古事記に載っている「和那美の水門」の白鳥物語の場所ではないか、と古典ロマンにも富んでいます。本村の人口増加の一因にもなっている和納三田団地を擁し、駅に近く、住むには非常に快適な所です。またここには雪国らしいが、木のある家並みが残っており、明治のころまで馬市が開かれたという商業地区でもあり、現在日用品を中心とした店舗が軒を並べ、和納商店街を形成しています。また楞嚴寺、八幡神社など神社仏閣にも恵まれており、特に三社神社（日枝、熊野、八幡神社）祭礼では、百数十年の歴史を誇る「棒遣いや祭り囃子」が伝えられていて、村の無形文化財に指定されています。古さと新しさが凝縮した地区といえるでしょう。



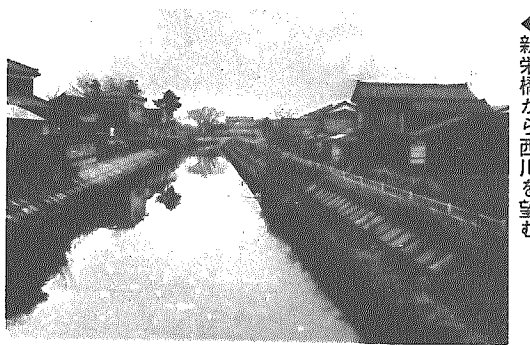
▲昭和50年ころまで営業していた竹の湯の煙突



▲国道一六号―現在歩道工事が進んでいる



▲岩室村の表玄関 岩室駅

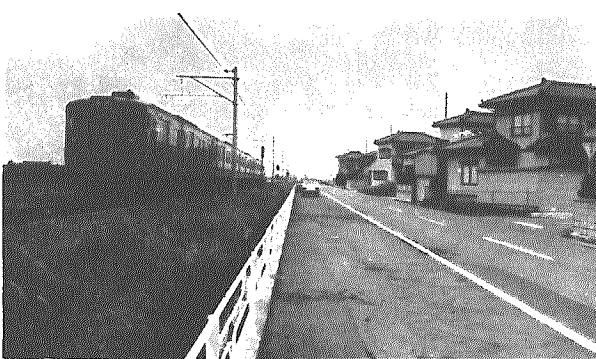


▲新栄橋から西川を望む



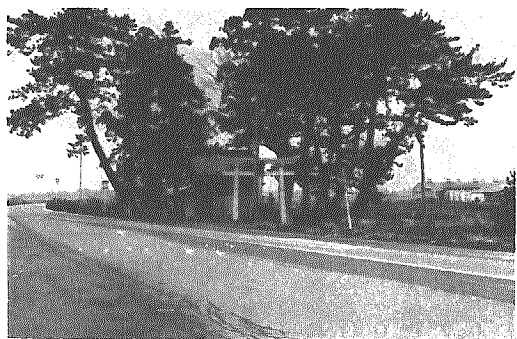
▲日用品を中心とした和納商店街

▶三田団地内を走る越後線―昨年四月電化になった



〔和納12区〕 昭和五十年、県の住宅供給公社により、和納三田地区九ヘクタールが宅地として開発され、和納三田団地（二百四十区画）が誕生。本村の新しい行政区として独立しました。

整然とした家並みに、住宅都市岩室の一面を代表している地区です。もちろん新住民ばかりです。最近ではコミュニティ施設も出来、活発で明るい地域づくりが進んでいます。



▲富岡神社を望む―手前の道は県道白根間瀬線

富岡  
●世帯…一〇世帯  
●人口…一五四人

高橋  
●世帯…三〇世帯  
●人口…一五八人

原  
●世帯…二六世帯  
●人口…一三三人

本村の東部に位置する原、津雲田、富岡、高橋の四地区は、一般には和納外部落と呼ばれています。この四地区は純農業地域として、本村でも有数の米作地帯で、大型農業用機械の導入が進み大規模経営が行われています。たゆまざる農業努力は多収穫米推進競争会などにも表れています。また原地区を除いては、ともに地区内を国道一六号線が通り、沿線には工場やレストラン・飲食店などが進出し、岩室の新たな一面をのぞかせています。

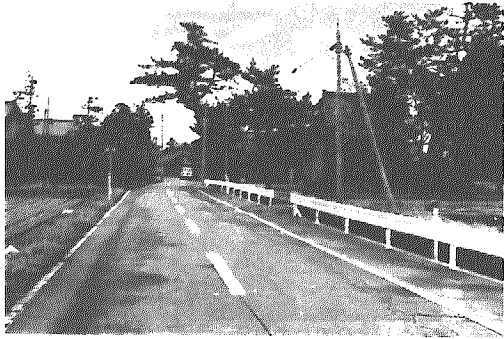
津雲田  
●世帯…29世帯  
●人口…146人



▲馬堀用水路から津雲田を望む



▲西川にかかる原栄橋（原地区）



▶和納三田団地から高橋神社を望む